

横尾議員　それでは、最初、本定例議会に遅刻をしたことをお詫び申し上げます。すいませんでした。それでは、通告書にしたがって、本年２月に整備された、牟岐町地域防災計画の内容から「災害対策本部設置、運営の実践訓練をすべきでは」について質問します。拠点となる災害対策本部の役場庁舎は、豪雨や台風時等が対象であり、地震・津波となれば、第１代替候補地の牟岐小学校及び第２代替候補地牟岐中学校敷地周辺等となっています。災害対策本部が災害の種類によって、拠点が変わるのはどうしたものかと考えますが、ご存じのように現庁舎は耐震化ができておらず、しかも津波浸水域にあるため、新庁舎に引っ越しするまでは、この防災計画通りに進めなければなりません。今回の総合防災訓練では、１年１回を基準とした実践訓練として、訓練項目が１２項目に及んでいます。今までの避難訓練は町民が対象でありましたが、この防災計画で指針が示され、関係者にとって、大いに助けにあるものであると考えます。さて、訓練項目の１番目に、「動員及び災害対策本部設置、運営」とあります。私の知るところ、今までに災害対策本部設置等の実践訓練が行われていないと思いますが、本年度より実践訓練を実際にされるのでしょうか。また、牟岐小学校・中学校敷地周辺等が代替拠点となる実践訓練については、運営まで想定し、業務遂行の面まで支障がないのかまでの対策はできているのでしょうか。お伺いします。次に、「応急仮設住用地は確保できているのか」について質問します。建設用地の配慮すべき点として、４項目を挙げていますが、現時点で用地の準備・確保はできているのでしょうか。個人的には、特にインフラ整備ができている用地が好ましいと考えます。また、浸水区域内住人対応の応急仮設住宅の規格等の住宅数が、収容可能な用地規模であることを満たしている目途は立っていますか。それから、防災公園として大戸ヘリポート南東側に整備とありますが、「室戸阿南海岸国定公園区域内であるため、各種行為に係る許可及び、関連団体との協議が必要となる」とあります。今後の協議予定はどうなっているのでしょうか。最後に「大川橋・中央橋は耐震化できているのか」についてですが、災害対策

本部が役場庁舎から牟岐小学校・中学校敷地周辺等になった場合に、橋は大丈夫なのでしょうか。以上、見解をお伺いします。

一山議長 枳富町長。

(枳富町長 登壇)

枳富町長 最初に横尾議員の「災害対策本部設置・運営の実践訓練をすべきでは」について、お答えします。災害対策本部設置・運営訓練につきましても、災害発生後迅速に対応するためには、平常時より訓練することが重要と思われまます。牟岐町におきましても、令和元年度より徳島県南部総合県民局の協力により牟岐町指揮機関訓練を実施しています。今年度も徳島県南部総合県民局の協力を仰ぎながら、訓練を行っていきたくと考えています。次に、牟岐小中学校が代替え拠点となれば業務遂行の整備の面で、対策はできているのかについてですが、業務遂行にあたり、学校施設ですので、役場機能と同等の機能は、有していませんが、災害対策本部の初動体制確立に必要な町の防災無線、また、町民体育館には県の防災行政無線もあり、放送設備及び県への応援要請等、初動に必要な通信設備は配備しています。しかしながら、これで設備が十分なわけでもないと思われまますので、今後、訓練等を実施していく中で、必要な設備の確認をするとともに、事前に整備することが可能な設備につきましても、整備を図ってまいりたいと考えています。次に「応急仮設住宅用地は確保できているのか」について、お答えします。応急仮設住宅用地ですが、牟岐町地域防災計画では、建設用地として、以下の諸点に配慮するとなっております。一つ目に、町・県・国等公共機関所有地、若しくは企業等の民有地、二つ目に造成面積が広い場所、三つ目に水道、電気等の生活関連設備整備に困難を強いられない場所、四つ目に要配慮者にやさしい場所で、日常生活を送るうえで不便を強いられない場所とあります。牟岐町において、応急仮設住宅建設用地の確保は、当然、土地所有者への用地交渉・同意・契約が必要なため、土地の確保までには至

っていませんが、あらかじめ応急仮設住宅建設候補地の調査を行い、応急仮設住宅建設候補地リストを作成しています。災害発生後、すぐに交渉ができるように各候補地の敷地面積、建設地地盤の状況、建設可能戸数、法的手続きの必要性の有無などの調査を事前に行っているところです。次に、大戸ヘリポート南東側の防災公園の整備計画ですが、ここについては、国定公園内であり許可や協議が必要ですので、整備に向けて、関係機関と協議していきたいと考えています。次に「大川橋・中央橋は耐震化できているのか。」についてお答えします。議員もご承知のとおり、大川橋、中央橋ともに県道に架かる橋ですので、管理者の徳島県に確認したところ、「中央橋については、平成27年度末に落橋防止対策工事済み、大川橋については、徳島県全体で優先順位をつけ修繕計画を進めています。修繕対象の橋梁になっていますが、工事の時期は未定」との回答でした。このことから、中央橋は落橋防止対策工事済みとのことなので、発災後は、役場から牟岐小中学校へ移動する場合は、中央橋を通ることになると思われます。以上です。よろしくお願ひします。

一山議長 横尾議員。

横尾議員 実践訓練をすべき点について、初動に対しては、無線関係は設備できているということでしたが、長期にわたって、災害対策本部が設置される場合ですけど、また、移動する場合に、持参するものとして、どういったものが考えられるのかについて、まずお聞きしたいと思います。また、応急仮設住宅用地は、リストの作成ができているということで、いざとなった場合には、交渉にあたるような準備もできているということは望ましいと考えます。最後に大川橋については、県の優先順位の候補として挙げられていると言いますが、中央橋を通過の避難ということで、そういった中央橋について、地震の際に、津波が起きた際に、例えば、船が乗り上げられている状況であるとか、通行できない場合というのも考えられると思います。そういったことの対処も必要ではないかと思いますが、そういった点では、町の対応として、どういう対策をするのでしょうか。避難の実施訓練をすべき点について持参するものとして、

どういったものがあるのかということと、中央橋等が通れない場合の対策等について、お聞きしたいと思います。お願いします。

一山議長 宮内総務課長。

(宮内総務課長 登壇)

宮内総務課長 長期にわたる件なのですが、今のところは、放送設備だけしか、実のところ用意できていません。最初の発災後、1日、2日、3日ぐらいで、その後、県とかの応援情勢を仰ぎながら、必要なものの設備を整えていきたいと考えているのですが、ただ、事前に整備できるものは、あった方がいいのかということで、今、訓練等をする中で、あるべきものの洗い出し等を行っていきたいと考えています。以上です。

一山議長 横尾議員。

横尾議員 橋の件については、答えにくいと思います。注意喚起程度にしかならないと思いますけど、実際に現場に遭遇しないと、対処のできないことだと思いますので、答弁は省略させていただいて、総務課長の言うように、先ほどの実践訓練を通して、実際に整備が必要であるもの等をリスト化して、実践訓練を通して固めていってほしい。私の言いたいことは、まずは災害拠点本部の移動に対して、実際にどういった事柄が起きるのかを身をもって体験してほしいということになります。以上、質問を終わります。